

岩手県感染症週報

平成27年第49週(11月30日～12月6日)

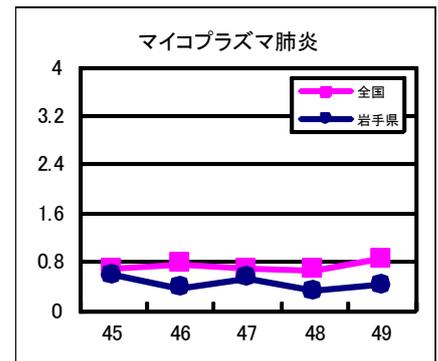
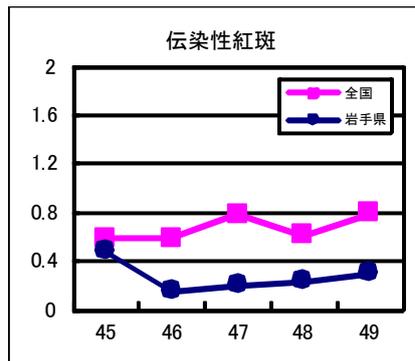
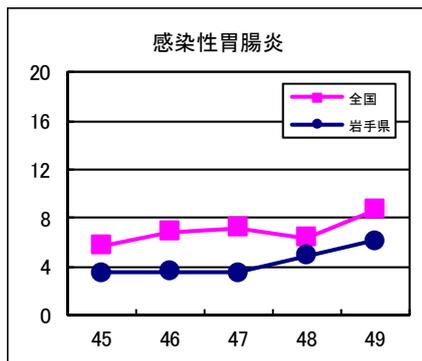
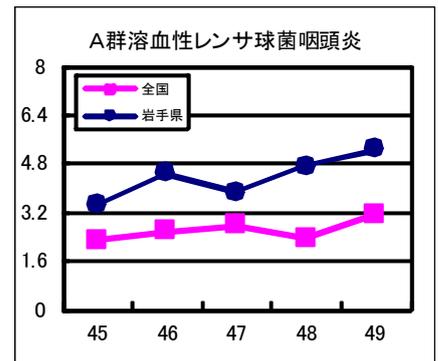
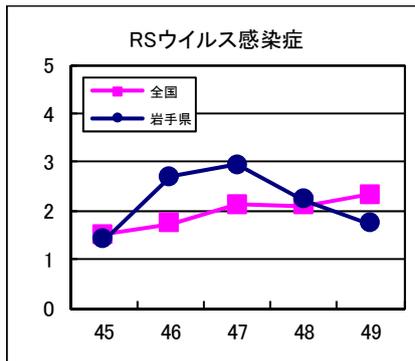
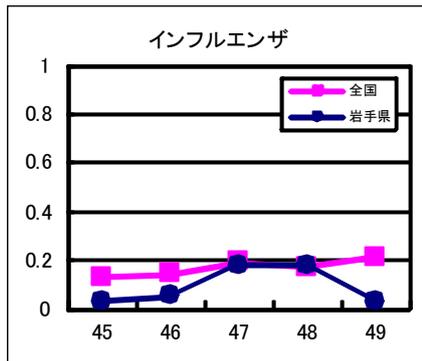
岩手県感染症情報センター

第49週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生 の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・結核 の報告が2例ありました。そのうち、潜在性結核感染症例は1例です。
- 3 類感染症 ・患者発生 の報告はありませんでした。
- 4 類感染症 ・レジオネラ症 の報告が盛岡市から1例ありました。患者は60歳代の男性です。
- 5 類感染症 (全数把握対象疾患)
 - ・後天性免疫不全症候群 の報告が、盛岡市から1例ありました。患者は30歳代の男性です。
- 5 類感染症 (定点把握対象疾患)
 - ・溶連菌咽頭炎は、前週より増加し、調査を開始した平成11年以降最多の報告数となりました。中部地区で警報値(定点あたり患者数8人)を超えたほか、盛岡市、久慈及び二戸地区でも多くなっています。年齢層別では、10～14歳が約2割を占めています。感染後、急性腎炎を併発することがあるので、7～10日間の抗菌薬内服が必要です。予防は患者との濃厚接触を避けること、手洗いやうがいの励行が重要です。
 - ・感染性胃腸炎は、前週より増加しました。一関及び久慈地区で、定点あたり患者数10人を超えています。保育園や小学校でノロウイルスやサポウイルスによる集団感染事例が続発しています。集団で生活する保育園等では、石けんと流水を用いた手洗い、患者の汚物の適切な処理などの注意が重要です。
 - ・RSウイルス感染症は、例年より多い状況で推移しています。乳幼児は、細気管支炎、肺炎等を併発し呼吸困難を呈することがあるので、注意が必要です。
 - ・インフルエンザワクチンは、接種後2週間程度で効果が現れるので、早めの接種が望まれます。

最近の注目疾患 (定点あたり患者数の過去5週の動き)

(疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意)



定点把握対象疾患 (過去5週の動き)

※2013年第42週より感染性胃腸炎 (ロタウイルス) が定点把握対象疾病となりました。

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向	
		45	46	47	48	49		
インフルエンザ	岩手県	0.03	0.05	0.18	0.18	0.03	→	
	全国	0.13	0.14	0.19	0.17	0.21		
RSウイルス感染症	岩手県	1.4	2.7	2.95	2.23	1.73	↘	☆☆
	全国	1.5	1.73	2.13	2.11	2.32		
咽頭結膜熱	岩手県	0.3	0.25	0.4	0.15	0.35	→	☆
	全国	0.35	0.39	0.47	0.46	0.58		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	3.43	4.48	3.85	4.7	5.25	↗	☆☆
	全国	2.29	2.59	2.76	2.35	3.12		
感染性胃腸炎	岩手県	3.55	3.6	3.55	4.9	6.1	↗	☆
	全国	5.72	6.88	7.18	6.42	8.66		
水痘	岩手県	0.45	0.53	0.68	0.48	0.98	→	☆
	全国	0.44	0.55	0.6	0.65	0.74		
手足口病	岩手県	0.85	0.4	0.58	0.65	0.78	→	☆☆
	全国	0.52	0.37	0.39	0.27	0.23		
伝染性紅斑	岩手県	0.48	0.15	0.2	0.23	0.3	→	☆
	全国	0.59	0.59	0.78	0.61	0.79		
突発性発疹	岩手県	0.55	0.48	0.6	0.38	0.53	→	☆
	全国	0.5	0.52	0.53	0.45	0.48		
百日咳	岩手県	0	0	0.03	0	0.03	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.05	0	0.1	0.08	0.05	→	
	全国	0.06	0.06	0.07	0.05	0.05		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.18	0.38	0.43	0.33	0.6	→	☆
	全国	0.65	0.7	0.67	0.77	0.81		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0.07	→	
	全国	0.01	0.01	0	0.01	0.02		
流行性角結膜炎	岩手県	0.43	0.43	0.21	0.71	0.64	→	☆
	全国	0.76	0.83	0.9	0.86	0.85		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.02	0.03	0.01	0.02		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.04	0.03	0.04	0.04	0.04		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.58	0.37	0.53	0.32	0.42	→	☆
	全国	0.68	0.76	0.68	0.66	0.85		
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0	0.05	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.03	0.03	0.02	0.02		
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	岩手県	0	0.21	0.05	0	0.05	→	
	全国	0.07	0.03	0.04	0.04	0.07		
インフルエンザ (入院患者) ※報告数であることに注意	岩手県	1	0	0	0	0		
	全国	14	18	17	17	14		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ☆ : 患者が発生しています
- ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)

※中東呼吸器症候群 (MERS) 及び鳥インフルエンザ (H7N9) が2015年1月21日より二類感染症に追加されました。

(患者発生数)

	疾病名	(週) 岩手県					累計	全国	
		45	46	47	48	49		49	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核 () 内は潜在性結核感染症患者再掲	11 (6)	2 (1)	1 (0)	5 (0)	2 (1)	233 (103)	341	22255
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	中東呼吸器症候群 (MERS)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H7N9)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	6
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	0	149
	腸管出血性大腸菌感染症	1	0	0	0	0	85	29	3481
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	1	34
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	2	31
四類 感染症	E型肝炎	1	0	0	0	0	7	2	181
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	1	4	231
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	20
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	5
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	4
	キャサヌル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	3
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	0	0	0	0	0	0	2	59
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	17
	つつが虫病	0	1	0	0	0	6	36	316
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	274
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1、H7N9を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	200
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	2
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	4
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
ポツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	1	
マラリア	0	0	0	0	0	0	0	39	
野兎病	0	0	0	0	0	0	0	2	
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	10	
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	1	
レジオネラ症	1	0	0	3	1	26	37	1500	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	1	30	
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

今注目の感染症 (つづき)

RSウイルス感染症

RSウイルス感染症は、秋から冬にかけて流行するRSウイルスによる急性呼吸器感染症です。何度も感染と発症を繰り返しますが、生後1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ100%の児がRSウイルスに少なくとも1回は感染するとされています。

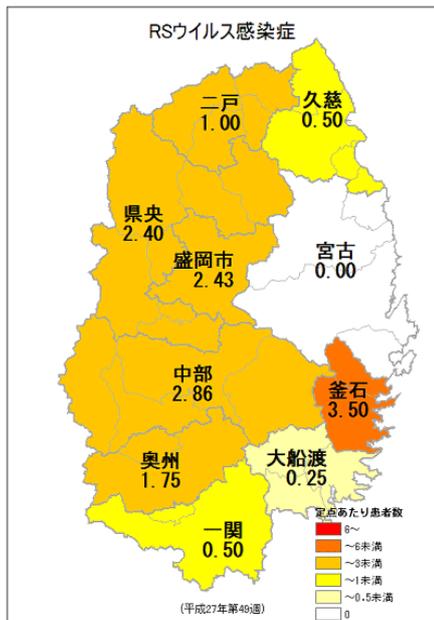
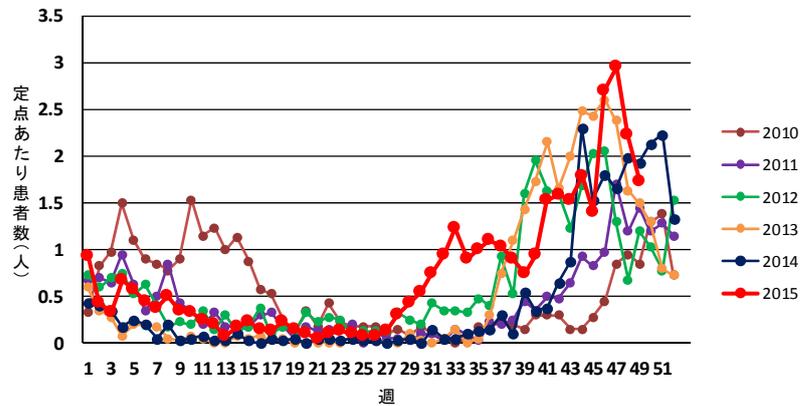
症状は、軽い風邪症状から重い肺炎まで様々ですが、初めて感染発症した場合は重くなりやすいといわれており、乳児、特に乳児期早期にRSウイルスに初感染した場合は、細気管支炎、肺炎など重篤な症状を引き起こすことがあります。そのため、乳児期早期の感染を避けるための注意が必要です。

感染経路は飛沫感染および接触感染(鼻水や喀痰のウイルスが手指や器物を介して感染)です。予防には、手洗いや咳エチケットが重要です。

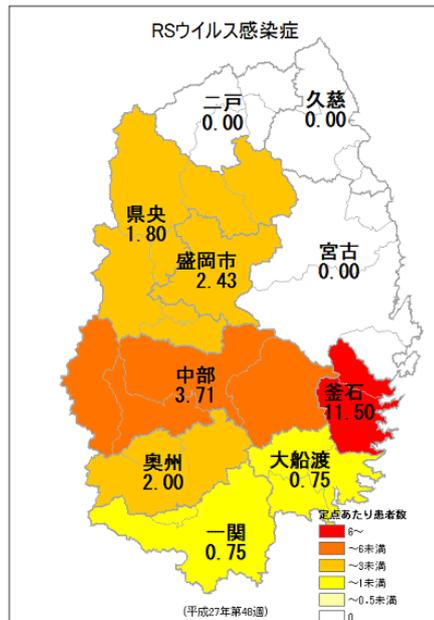
参考 厚生労働省 RSウイルス感染症Q&A

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/rs_qa.html

RSウイルス感染症週別患者報告数 岩手県
2010年～2015年第49週



第49週



第48週

今注目の感染症 (つづき)

感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は、細菌やウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。毎年秋から冬にかけて流行し、その原因はノロウイルスやロタウイルス等のウイルスが大部分を占めています。近年では、流行の前半はノロウイルスが、後半はロタウイルスが患者から多く検出されています。

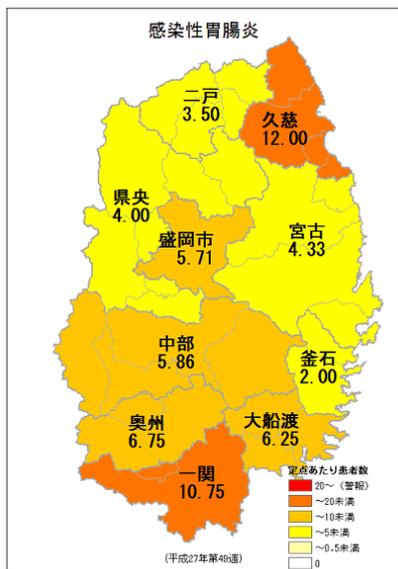
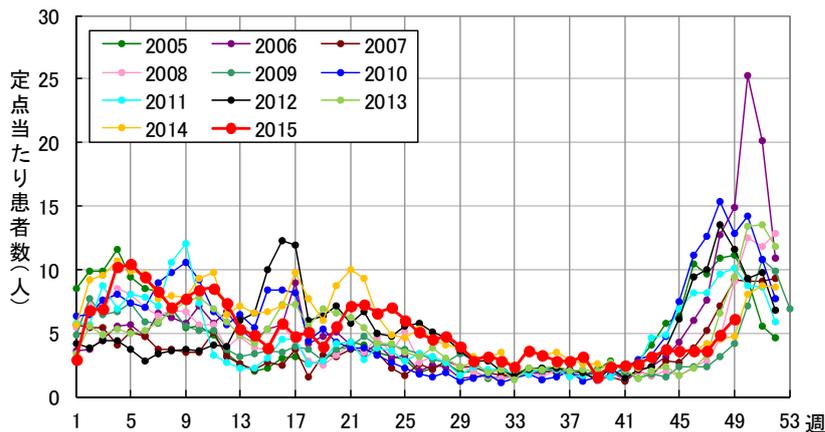
感染性胃腸炎の報告数は、例年、11月頃から増加し、12月にピークを迎えますが、2015年は報告数の少ない状況で推移しています。しかし、県内では保育園においてノロウイルスなどによる集団感染事例が報告されています。

感染性胃腸炎の原因となるウイルスの感染経路は、主に経口感染です。感染力が非常に強いので、保育園など集団で生活する場では、注意が必要です。また、ノロウイルスではGⅡ17変異株(いわゆる「新型ノロウイルス」)が他県で検出され、全国的な流行が懸念されるため、県内での発生の動向に注意が必要です。その予防には、これまでどおり、調理前、食事前、用便後に石けんを用いた十分な手洗い、食品の十分な加熱、患者の汚物の塩素系消毒剤による適切な処理が重要です。

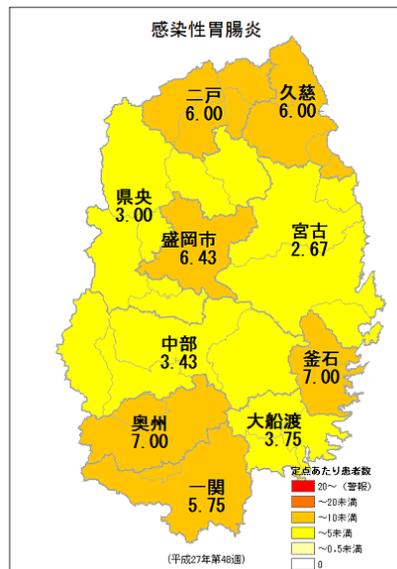
参考 厚生労働省ノロウイルスに関するQ&A

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

感染性胃腸炎、岩手県 (2005-2015)



第49週



第48週

病原体検出情報

- ・この週には病原体検出情報はありません。

集団感染情報

○感染性胃腸炎の集団発生について

北上市内の保育園（園児数144名 職員数43名）

- ・11月24日（火）から12月7日（月）にかけ25名（園児22名、職員3名）に症状（嘔吐、下痢等）
- ・有症者8名中7名から、ノロウイルスを確認

盛岡市内の保育園（園児数146名 職員数38名）

- ・11月15日（日）から12月7日（月）にかけ園児26名に症状（嘔吐、下痢、発熱等）
- ・有症者8名中4名から、サポウイルスを確認

盛岡市内の小学校（児童数713名 職員数47名）

- ・11月29日（日）から12月7日（月）にかけ児童26名に症状（嘔吐、下痢、発熱等）
- ・有症者8名中8名からノロウイルスを確認

雫石町内の保育園（園児数64名、職員数15名）

- ・11月23日（月）から12月7日（月）にかけ園児8名に症状（嘔吐、下痢等）
- ・有症者4名中4名からノロウイルスを確認

医療機関からの情報

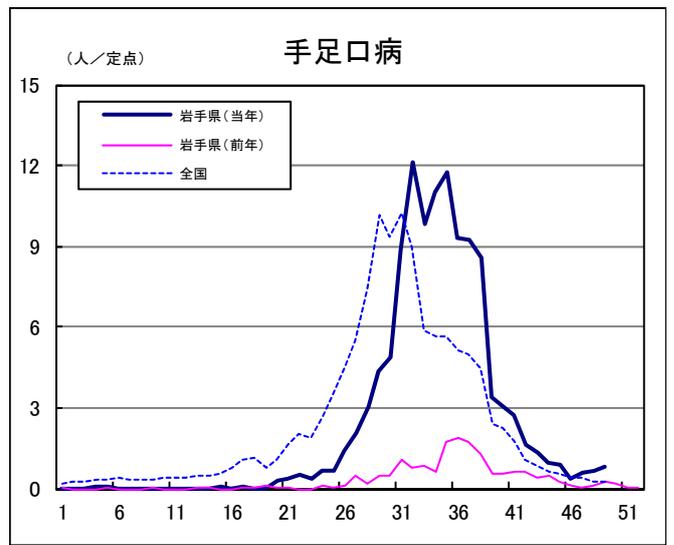
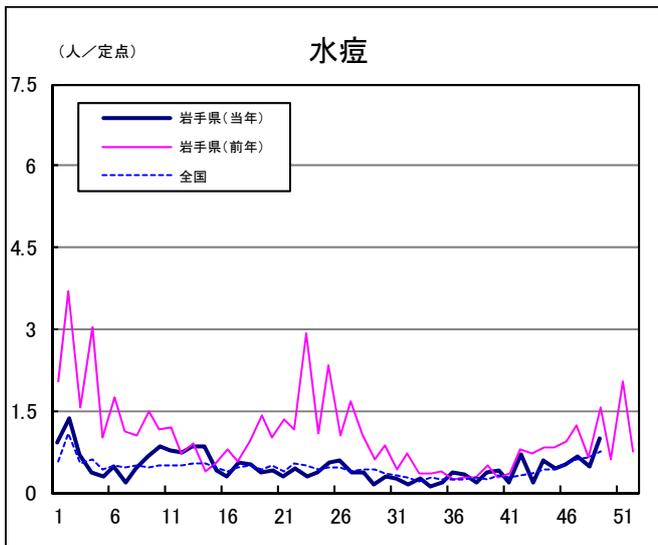
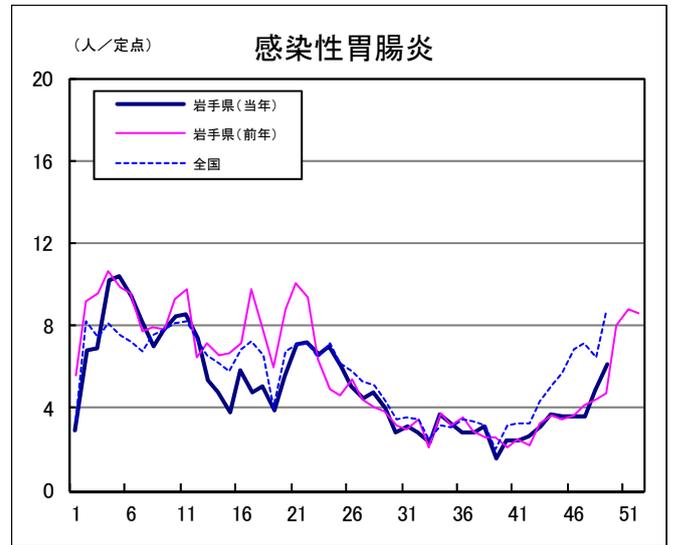
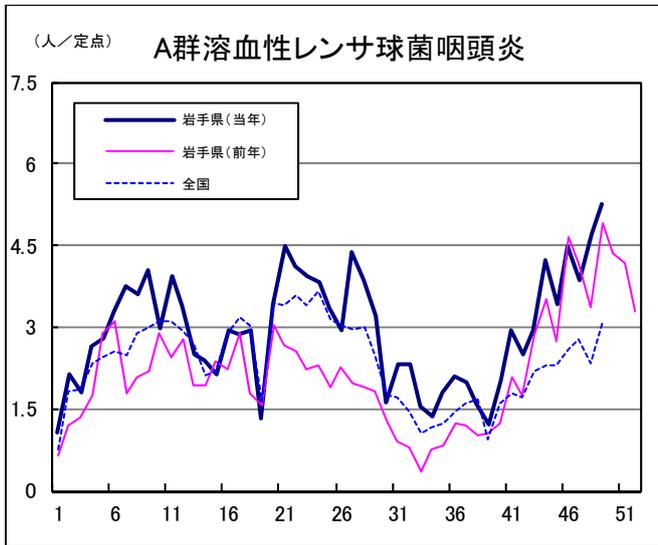
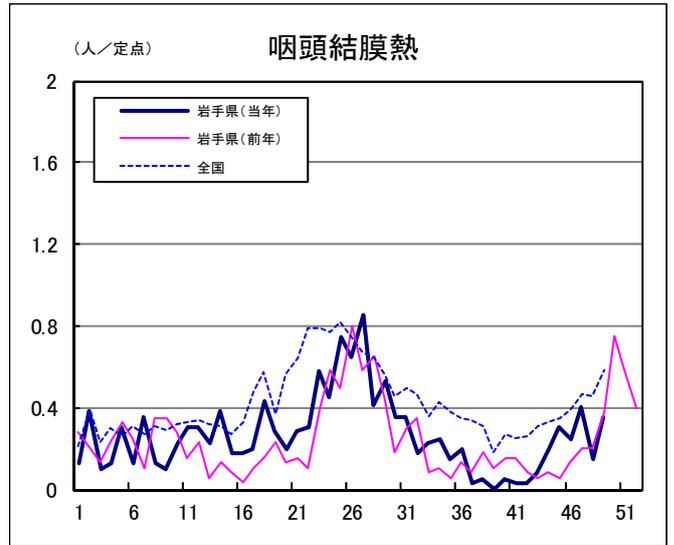
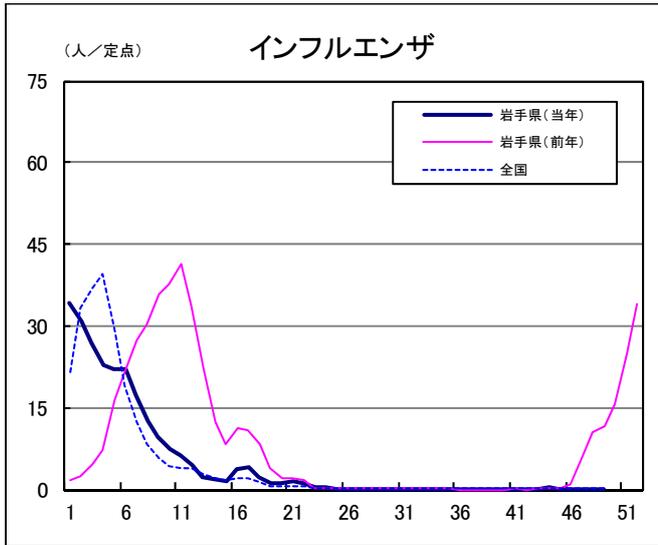
- ・この週には医療機関からの情報はありません。

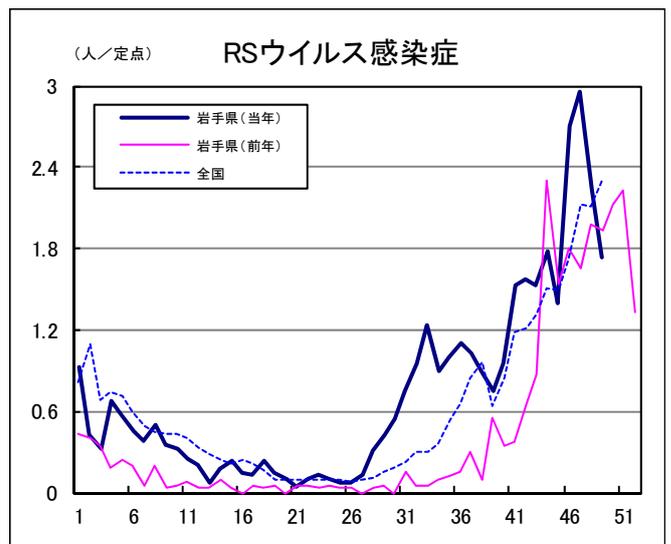
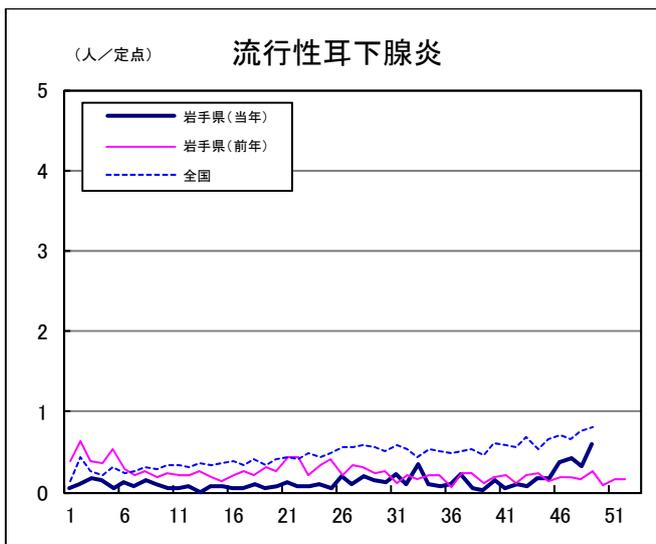
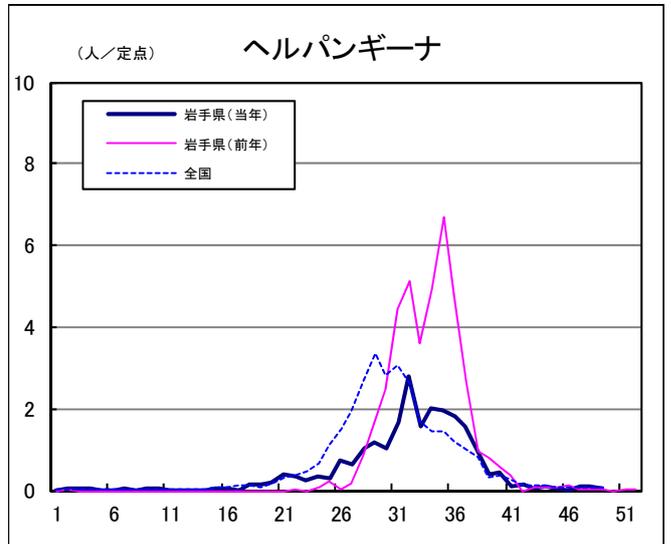
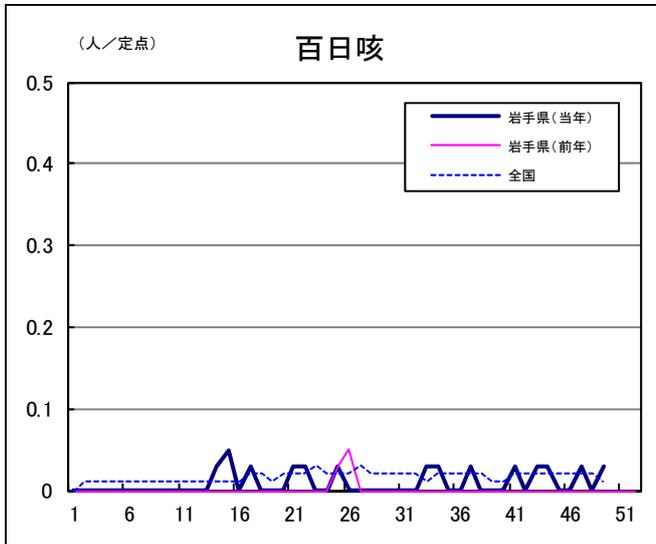
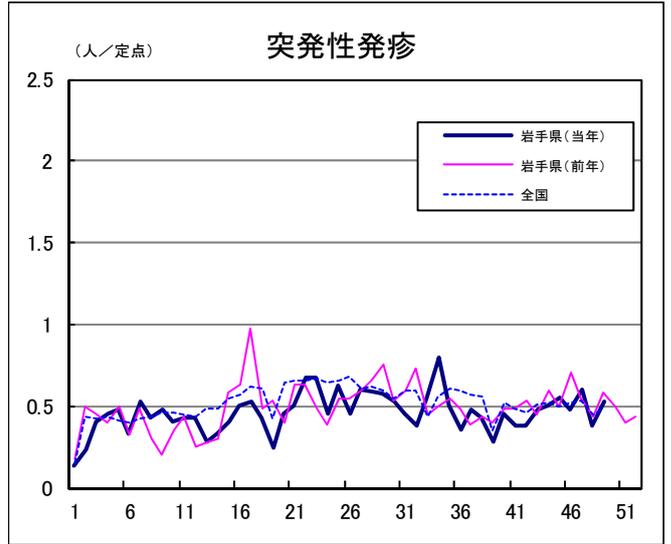
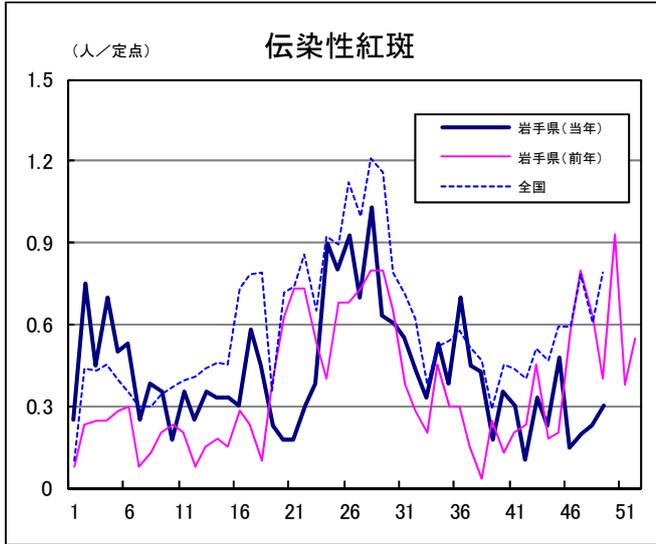
Q & A

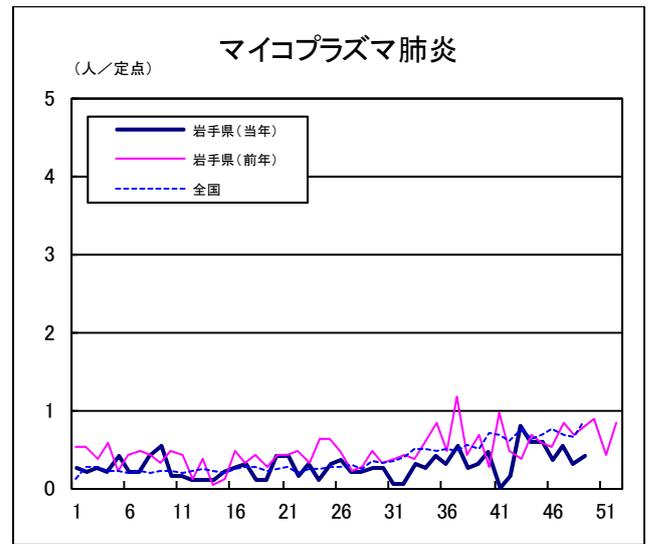
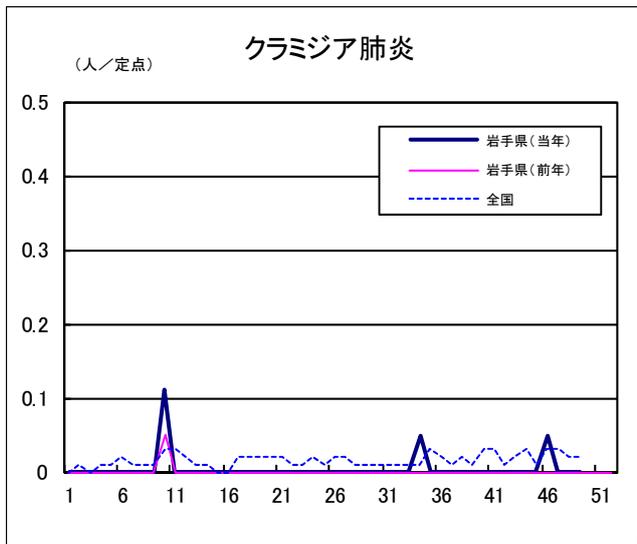
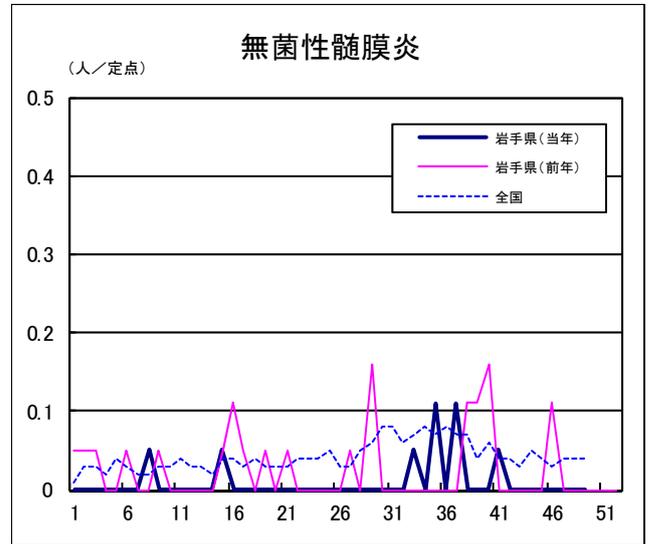
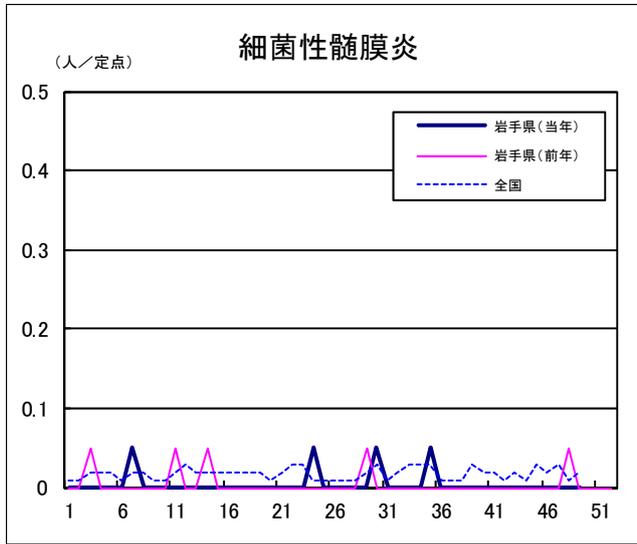
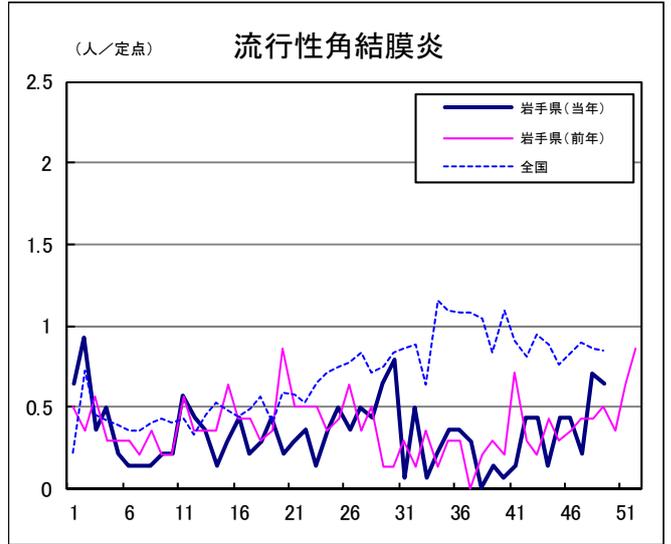
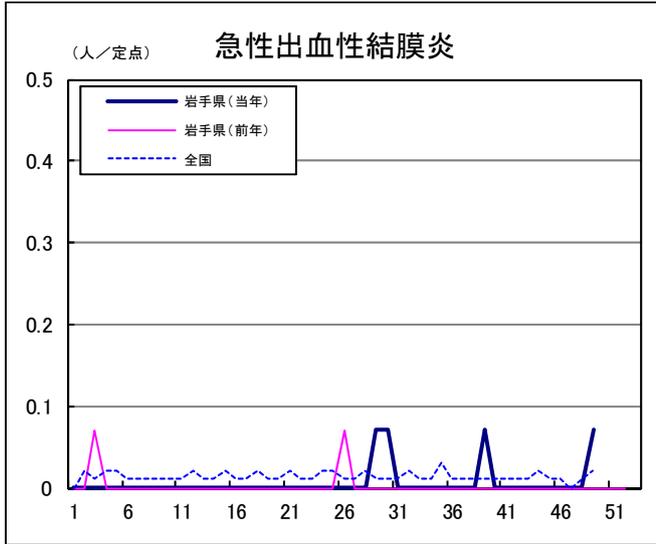
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)







定点医療機関の数

地区	定点種別 インフルエンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	65	40	14	19
盛岡市	11	7	3	5
県央	8	5	2	0
中部	12	7	2	4
奥州	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成27年第49週 平成27年12月11日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター
岩手県保健福祉部医療政策室

事務局：岩手県感染症情報センター
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/iryuu/kenkou/index.html>

<岩手県保健福祉部医療政策室>